

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	211環境保全の促進		
施策のねらい (めざす姿)	市民一人ひとりの環境意識が高まり、身近な生活環境や自然環境、そして地球環境までに配慮した生活をおくっています。 市民・事業者・行政が協働して環境保全活動に取り組んでいます。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	市民生活部次長
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	マネージャー氏名	渡邊 忠明

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市民の環境保全に対する意識向上に繋がる施策が必要である。	③改革・改善内容	環境パネル展、フェア、エコサロンの他、環境学習講座を市民協働により進めていく。
②①に基づく取り組み結果	環境啓発事業を進めたことで市民の環境意識向上が図れた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民・事業者	意図(対象をどうするのか)	健全な生活環境や豊かな自然環境の保全に取り組みます。
②施策の概要	市民の生活環境及び自然環境保全に向けて、環境質のモニタリング実施及び環境に関する相談対応の実施。また、環境意識啓発のための情報提供及び学習事業の実施。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	地球温暖化影響の深刻化などについて強い関心が寄せられている。また、河川や里山自然など、本市の自然環境について意識が高まっている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	水質、自動車・航空機騒音などの環境モニタリングを実施。市民からの騒音等や空閑地の管理に関する相談などの対応を進めた。また、イベントや環境学習講座を開催し環境情報の提供や啓発活動を進めた。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	河川の水質BOD値	mg/L	7.3	7.4	5.6	9.0以下
	ii	市内全域の温室効果ガス排出削減率	%	—	—	—	—
	iii						
③基本事業成果指標	i	環境保全活動団体数	団体	11	11	12	増加
	ii	公害苦情相談受付件数	件	188	169	121	減少
	iii	環境計画策定・改定市民関与数	人	287	402	574	増加
	iv						
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算			
事業費(千円)	23,870	28,065	(単位:円)	258	円	32,782	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	地球温暖化対策実行計画の改定、地域エネルギー施策及び里山保全施策の検討を進めることが求められる。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	地域エネルギー施策については、原発事故以降の我が国エネルギー施策の大きな変化に対応した施策展開となることから調査・研究の実施などに時間を要するため。

V 今後の方向性

①成果の方向性	→維持	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	環境保全の啓発に要する経費		
④上記方向性の説明	計画策定作業の実施にあたって、計画推進段階では、再生可能エネルギー賦存量調査や省エネルギー機器への更新など投資的な施策が進められる必要がある。		